

## 令和8年度 雲仙岳火山防災協議会 事業計画（案）

## 1. 協議会

- (1) 期日 令和9年3月
- (2) 場所 島原市内
- (3) 協議内容（必要に応じて）
  - ① 雲仙岳の警戒区域設定に係る調整
  - ② 雲仙岳火山防災計画の修正
  - ③ 雲仙岳火山防災協議会の規約改正
  - ④ 令和9年度事業計画及び予算
  - ⑤ その他、所管事項で、協議を要する事項

## 2. 幹事会（1回目）

- (1) 期日 令和8年5月
- (2) 場所 オンライン
- (3) 協議内容
  - ① 令和8年度の実施内容
  - ② その他、所管事項のうち、協議を要する事項

## 3. 幹事会（2回目）

- (1) 期日 令和9年2月
- (2) 場所 オンライン
- (3) 協議内容
  - ① 協議会で協議する事項の整理
  - ② その他、所管事項のうち、協議を要する事項

## 4. 所管事項の協議・検討

- (1) 溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会
- (2) 雲仙温泉街火山現象対応専門部会
- (3) 退避壕整備計画専門部会
- (4) その他、当協議会の目的達成のために必要な、関係機関による  
検討会議
- (5) 上記会議開催のための調査・調整

5. 溶岩ドーム崩壊危険度判定分科会（定期）

（1） 時期 令和9年2月

（2） 場所 オンライン

（3） 協議内容

① 溶岩ドーム（第11ロープ）挙動観測結果

② 監視基準値の超過状況

③ 監視基準値の見直しの必要性について

④ その他

6. 溶岩ドーム崩壊危険度判定臨時分科会

溶岩ドームの観測結果が監視基準を超過した場合に、関係機関や学識経験者からなる危険度判定分科会を必要に応じて開催。

審議事項

① 今後の崩壊、さらなる崩壊の可能性、見通し

② ①を踏まえた防災対策の留意事項

③ その他

7. 雲仙岳大規模土砂災害合同防災訓練

溶岩ドームの崩壊監視基準超過時の状況に応じた、関係機関と住民の対応を図上訓練する。

（1） 時期 今後、関係機関と協議して決定

（2） 場所 今後、関係機関と協議して決定

8. 火山防災ワークショップ

火山防災対策を、迅速かつ的確に実施していくために、防災関係機関の職員が火山防災対策に関する知見を身に着け、雲仙岳の現状を正しく認識するための研修会を開催

（1） 時期 令和8年5月

（2） 場所 今後、関係機関と協議して決定

9. 九州大学地震火山観測研究センター（島原）における研究体制継続に向けた取組

10. その他、協議会の目的の達成のために必要な取組

